

令和元年 四日市萬古 作家協会展

2019年 10/11(金) 12(土) 13(日)

一般展示

11:00~17:00

◆ランチ / 11:30~14:00

◆ディナー / 18:00~21:00

開催地/四日市「伝七邸」

〒510-0042 三重県四日市市高砂町6番12号

Yokkaichi
Banko Society Artist
Exhibition

森有節翁「再興萬古」の偉業へ

【萬古10人衆】

清水醉月

稻垣竜一

熊本栄司

榊原勇一

清水 潮

清水 潤

西田真也

松本 央

水谷 満

水谷幸勉

<若手作り手>

岩間由希子

小川敬吏

姜京和

木村美光

久保田学

関真衣子

廣瀬千尋

荒木明日香



有節萬古 腥臙脂釉山水文杯洗

同時
開催

令和元年 萬古作家美術展 9/8(日)▶12/29(日)

四日市萬古を代表する作家“萬古10人衆”の作品を「伝七邸」に常設展示

沼波弄山から森有節、そして現代「萬古10人衆」へ — 伝統文化を継承する3日間。

昨年、沼波弄山翁生誕300年記念イベントとして1,000名超を動員し、大盛況となった「四日市萬古作家協会展」。今年、始祖である弄山翁没後、一度途絶えた萬古焼を再興し、その普及に尽力された森有節翁の功績を称えと共に、その意志と伝統文化を継承するイベントとして開催されます。期間中は、萬古焼作品の展示即売、伝七郎「神楽」とのコラボレーションによる萬古焼の器を使った和食、萬古焼名作家10名が来場者との夕食を楽しむ会など、萬古焼と作家の魅力を余すところなく堪能することができます。

「萬古10人衆」作品展示販売

<11:00~17:00>

一般の方もご入場いただけます。

入場無料
予約不要



清水醉月 Suigetsu Shimizu

三重県文化功労者表彰大賞受賞、四日市文化功労者、G7伊勢志摩サミットでのディナー乾杯酒盃、天皇陛下への献上「退位の礼」、東海テレビ文化賞、日本伝統工芸展30回入選など、多数の受賞歴を誇る。



稲垣竜一 Ryuichi Inagaki

三重県美術館優秀賞、美濃国際フェスティバル入選など受賞歴多数。G7伊勢志摩サミット昼食会にてワインカップが使用される。



熊本栄司 Eiji Kumamoto

陶芸ビエンナーレグランプリ、朝日陶芸展秀作賞・新人賞、現代茶の湯アワード入選他、全国にて多数個展開催。光風窯陶芸倶楽部主宰。



榊原勇一 Yuichi Sakakibara

東海伝統工芸展入選などの受賞歴の他、京王百貨店、近鉄百貨店他各地にて個展・グループ展開催。



清水 潮 Ushio Shimizu

東海伝統工芸展/NHK名古屋放送局長賞、日本伝統工芸展/日本工芸会奨励賞など受賞歴多数。日本橋三越本店にて個展開催。



清水 潤 Jun Shimizu

日本伝統工芸展入選、日本煎茶工芸展入選、東海伝統工芸展最高賞受賞、松坂屋本店にて個展。東本願寺「白磁壺」奉納。



西田真也 Shinya Nishida

日本伝統工芸展入選20回、東海伝統工芸展入選25回など受賞歴多数。名古屋栄三越、新潟三越、伊勢丹浦和店など個展・グループ展開催。



松本 央 Hiroshi Matsumoto

東海伝統工芸展入選、朝日陶芸展入選、陶芸ビエンナーレ入選、日展入選など多数の受賞歴のほか、各地で多くの個展を開催。



水谷 満 Mitsuru Mizutani

萬古陶芸展工業組合理事長賞、萬古焼総合コンペ入賞3回、嵯峨御流華陶会入賞。近鉄百貨店四日市店など各地で個展開催。



水谷幸勉 Yukiyasu Mizutani

日展入選25回会友、日本現代工芸美術展審査員本会員、県展審査員運営委員、市民展審査員運営委員、四日市市文化功労表彰(最年少)

◆「萬古御膳」ランチセット <11・12・13日/11:30~14:00>



萬古焼の器を使った期間限定のランチをお楽しみください。

3,500円(税別・サ込)

各日30名様限定/予約制

◆お茶セット(抹茶+和菓子) <11・12・13日/10:00~16:00>



国の登録有形文化財「伝七郎」で、作家と伝七郎茶道部による日本の優雅な伝統文化を体験してください。

500円(税別・サ込)

◆作家との夕食会 <11・12日のみ/18:00スタート>

※夕食会にご参加の方は、17:00以降も展示をご覧いただけます。



萬古作家と語りながら、萬古焼の器を使った期間限定のコース料理をお楽しみください。

7,000円(税別・サ込)

各日30名様限定/予約制

※ランチ・ディナー共に、ご相席となる場合がございます。

古萬古・有節萬古の展示

伝七郎所有の萬古焼を多数展示しております。



▲古萬古 色絵花鳥文壺



▲有節萬古 腥臑脂釉山水文杯洗



森 有節翁 (1808~1882年)

江戸後期~明治時代の陶工。三重県桑名市出身。

天保2年(1831年)、朝明郡小向(おぶけ)村で萬古焼を再興。木型による成形法、腥臑脂(しょうえんじ)釉による淡紅彩などを創始。

伝七郎



かつて四日市の繁栄に尽力された紡績王「第十世伊藤伝七」の別邸として、1896年(明治29年)に四日市市高砂町に移設された歴史的な建造物。威風堂々とした「玄関棟」と切妻造りの「さつき棟」は、国の登録有形文化財となっています。皇室関係者や政財界など、多くの著名人から愛された、四日市の繁栄の象徴とも言える場所でした。現在は、飲食の提供や国際交流の拠点となっています。

ご予約
お問合せ



株式会社伝七ステーション

TEL/059-340-0117 [URL] <http://www.den7st.net/>

【主催】四日市萬古作家協会 【共催】株式会社日本伝統ビュロー/株式会社伝七ステーション

【協力】伊勢新聞社/東海ラジオ放送株式会社/三重テレビ放送株式会社/株式会社近畿日本ツーリスト中部/竹泉古流家元 瀬木華泉 有限会社萩村製茶/伝七郎茶道部